

壱岐市観光戦略の意見公募に係る皆様からのご意見及び市の回答

No.	箇所	内容	回答
1-1	巻頭言	巻頭言に、市長の観光戦略にかかる決意を掲載していただきたい。できれば愛知県犬山市の観光戦略の市長の巻頭言をご一読いただき、それを参考にしつつ、壱岐市の「壱岐新時代」を読者に実感させる、とてもワクワクするものをお願いしたい。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。壱岐市長の巻頭言を掲載していただきたいとのご意見でございますが、壱岐市観光戦略が総合計画を基に作成していることもあるため、市長のあいさつにつきましては、第4次壱岐市総合計画のあいさつに代えさせていただきます。「壱岐市新時代」をお感じいただけるのではないかと思います。
1-2	全体	製本版の観光戦略については、A4 タテのレイアウトで作りこんでいただきたい。12ページのスキーム図や17ページ～21ページのアクションプラン内容の文字に合わせた結果だと思いますが、それは「A4 タテの見開き」（あるいは「折り込み」）で実現できるものとおもいます。 概要版として考えたときには、そのまま市政出前講座などで説明しやすく、いいと思いますが、戦略としては折り目正しく A4 タテであってほしいところです。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。1ページの「1. 戦略の目的等」にも記載しておりますが、本戦略は「シンプルでわかりやすい形式」を目指して作成しました。市では従来の形式にこだわらず、なるべく皆様に内容が伝わることを優先し今回の形式を採用いたしました。
1-3	全体	丁寧に作成されていたが、「壱岐市の観光戦略（観光課を中心とした全庁的な総合行政としての観光政策の体系化されたもの）」というよりは、「壱岐市の総合計画上での4-1の観光の役割分担を所管課だからという責任感を感じるものの、単に観光課所管部分を記載したものに過ぎないもの（セクショナリズムにとらわれており、観光課の事務事業内容とそれに込めた思いを記載したもの）」に終始している印象がある。大変に申し訳ないが、壱岐新時代における総合行政としての観光戦略になりえていない。また、総合計画とは何かを観光課が	貴重なご意見をいただきありがとうございます。市では本戦略を2025年から2027年度の観光戦略と考えております。本戦略では観光課が担っている業務を一元的に見える化し、市民皆様をはじめ多くの観光に携わる事業者の方々と共有することで、総合計画が掲げた目標の実現に向けて関係者間の意思統一を図っていくために作成しました。観光課の所管業務を中心に据えているため、セクショナリズムにとらわれていると感じられたのかもしれません。今後、市では本戦略の20ページ「壱岐市観光戦略の周知・普及」にありますように、本戦略を積極的に周知・普及していきたいと考えてお

No.	箇所	内容	回答
		理解できておらず、また、政策企画課等の総合調整を担う課がグリップを効かせておらず、熱意は理解できるものの、全庁的に観光面において横串しを刺して未来を見据えた内容にアップデートする必要があると指摘せざるを得ない。 本件は「観光課の今後３年間の事務事業計画の理念・決意」というような位置づけで庁内・課内で整理して、令和７年度になって早々に政策企画課と一緒に推進課が庁内で総合調整の観点からリーダーシップをとる形で、観光課の専門性を活かし、庁内でプロジェクトチームを作って改めて作り直したほうがいいのではないか。そのうえで、令和７年４月１日から効力を発揮させる「壱岐市観光戦略」（ないし「第５期壱岐市観光振興計画」として壱岐市自治基本条例の考え方に基づく手順を取って、観光審議会等の市民参画を実装し当事者意識を持つ市民・事業者の育成を行い、市民や事業者に観光で「稼ぐ」意識を醸成させる機会と位置付けることで、市が描く観光戦略と歩みをそろえる体制整備を行うべきではないか。 「壱岐新時代」は、市役所の中にいる人だけが享受するものではなく、壱岐市民あまねくが自ら作りだすものではないのか。そして、「壱岐新時代」を共に作り上げる島外から仲間として呼び、なおかつ、自費でやってきてくれて壱岐島内に外貨をもたらしてくださる方々を、形の上で「観光客」と呼ぶものなのではないだろうか。観光客に響く「壱岐新時代」の「観光戦略」として、もっと練り上げてほしい。その検討の土台としての「課が提案する素案」にはなりえていないと思うが、これを「全庁的	ります。また、今後も観光分野の各推進主体相互の連携を図るため連携会議を開催していく予定としております。本戦略は今後も皆様に周知・普及させていく過程や連携会議を実施するなかで市民をはじめ皆様のご意見を取り入れながらブラッシュアップしていきたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

No.	箇所	内容	回答
		な観光戦略」「市民が自分たちの「稼ぐ力」を伸ばすための戦略」に育てるプロセスを大事にしてほしい。	
1-4	2 ページ「2. 壱岐市の現状と観光の動向」	「2. 壱岐市の現状と観光の動向」に「○本市における観光の現状（観光客数及び観光消費額）」という項目があるが、さらに追加して「○本市における観光政策の結果（アウトプット）と成果（アウトカム）」というような構図で、「第4期壱岐市観光振興計画」までに壱岐市の皆様が精力的に取り組んできた事柄のあらましを3～4ページ程度、丁寧に記載をしていただきたい。 各イベント（壱岐サイクルフェスティバルやウルトラマラソンなど）の直接の参加者数と、間接の観戦者などの実績を記載していただき、あわせて宿泊者数などの直接効果が分かる統計結果を添え、そのうえで間接効果を含めた経済波及効果のあらましを、ざっくりとした雰囲気だけでも添えていただき、これまでの観光成果のアウトプットとアウトカム、そして島へのインパクトを評価していただきたい。それが SDGs 未来都市における PDCA サイクルであり、観光振興計画の観光戦略へのアップデートを図る上での入り口である。第4期までの市職員による観光振興計画に基づく各施策の、相当な努力に基づく結果と成果を、ぜひ正当に検証していただきたい。 そのうえで、SDGs におけるサステナビリティを考えたときに、壱岐市職員や島内の事業者・ボランティアがいささかがんばりすぎではないのか、また、頑張っている分（無償労働や	貴重なご意見をいただきありがとうございます。「壱岐市の現状と観光の動向」に「○本市における観光政策の結果（アウトプット）と成果（アウトカム）」という項目を追加していただきたいとのご意見でございますが、今回は戦略策定と同時期に「観光マーケティング調査」を実施しており、その調査結果を反映させる形で戦略を作成しました。いただいたご意見を参考にさせていただき、今後予定している観光分野の各推進主体相互の連携を図るための連携会議等において観光政策の分析等について共有をしていきたいと考えております。

No.	箇所	内容	回答
		無償奉仕しすぎている分)を正當に価格に転嫁することができるものがないかについて、もっと深く研究・実践していただきたい。	
1-5	15 ページ 「市は、第4次壱岐市総合計画の観光分野の基本方針・施策体系を下記のとおり本戦略の基本方針・基本戦略とします。」	「市は、第4次壱岐市総合計画の観光分野の基本方針・施策体系を下記のとおり本戦略の基本方針・基本戦略とします。」とあるが、それは「第4次壱岐市総合計画における分野別まちづくり計画の観光のページ」であればよいのではないかな。すなわち、その設計思想であるならば、観光戦略は必要なく、『第4次壱岐市総合計画の分野別まちづくり計画における観光のアクションプラン』として詳細に記載していけばよかったですね。 はずであり、事務事業の効率化のために「独立した観光戦略を作らない」という思い切った選択があつてよかったのではないかな。いわゆる「計画疲れ」という世相もあり、本当に必要なことだけ仕事を絞って「働き方改革」を実現したほうがよいのではないかな。 しかしながら、観光戦略は必要であると思う。観光戦略が必要であると判断された市の思いは尊重したい。 「壱岐新時代」において求められる観光戦略というのは、これまでの取組みによる成果を踏まえつつ、観光に関する課題を市、市民、及び関係者が共有し、市、関係団体、事業者、そして何より市民が一緒になって力を合わせることで、壱岐観光の更なる飛躍と観光分野の産業としての成長、そして持続可能な観光まちづくりを実現するための役割分担とタイムラインを示すことなのではないかな。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。本戦略では観光課が担っている業務を一元的に見える化し、市民はじめ多くの観光に携わる事業者の方々と共有することで、総合計画が掲げた目標の実現に向けて関係者間の意思統一を図っていくために作成いたしました。今後、市では本戦略の20ページ「壱岐市観光戦略の周知・普及」にありますように、本戦略を市民の方をはじめ積極的に周知・普及していきたいと考えております。関係者の方々と本戦略を共有する過程で皆様に本戦略を自らの戦略と考えていただければ幸いです。いただいたご意見を参考にさせていただき、今後の観光行政に役立てて参りたいと思います。

No.	箇所	内容	回答
		その観点に立つと、人材育成の要となる社会教育課の諸事業や、これまでの SDGs 施策に基づく探求・課題解決手法に基づく「探求型旅行」(12 ページ) へのステップアップなど、市長部局と教育委員会部局等のあらゆる部局を観光を軸として横串をさし、『自治体経営の総合計画』を『民間の主体を含めた「観光を軸とした戦略的な地域づくり計画」』に再編するイメージでの観光戦略として策定する必要があるのではないかと。 そういう視点なく、17 ページの冒頭に「観光課事業計画」として書かれてしまうのであれば、それこそ課内の任意の事務事業の政策目標集にでもしていただき、パブリックコメントの対象としなくてもいいのではないかと感じてしまう。 しかしながら、観光戦略はやはり市民生活に影響がある存在である。オーバーツーリズムを避け、観光公害を抑制し、観光で生まれた付加価値が正当に評価され、もって市民の所得や市の税収に還元され、市民生活を豊かにするための総合施策である。その観点にたって、ぜひ丁寧な戦略策定と、戦略的視点を持った部課横断的な奥行きのある事務事業の展開および民間との適切な距離感のあるエンゲージメント(制度や契約に寄らないもの)を期待する。	
1-6	17 ページ 1-1. 高付加価値なコンテンツ造成①	「壱岐イルカパーク&リゾート」について、主要コンテンツと位置付けておられることに賛同するとともに、諸課題を乗り越え、また、その乗り越えるプロセスすらも観光コンテンツとして売り出し、それらによって壱岐市に外貨をもたらす装置・	貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見を参考にさせていただき、今後の観光行政に役立てて参りたいと思います。

No.	箇所	内容	回答
	(2)イルカパーク 管理・環境等改善事業	空間として活躍してくださることを期待している。 さはさりながら、「壱岐イルカパーク&リゾート」の課題は、イルカの生体展示に伴う管理・環境等のテクニカルな問題のみならず、経営面や人事労務面、広報活動面などにも存在するものとする。精力的に超人的な活動で取り組む指定管理者の経営陣の努力を讃えるほかないが、そうした未着手の課題解決について本戦略計画期間に市がリーダーシップを発揮することを強く期待する。 「壱岐イルカパーク&リゾート」については、地方創生交付金を活用した関係で、その交付金の趣旨に縛られて、相当に厳しい予算的・時間的制約を課せられていることは承知しているが、市が法人を設置した経緯や、市が資本金を少なく抑えたこと、また、市が資本金を引き上げたことなどの政策的影響が施設の現状に与えている影響も否定できない。そして、それらの政策的影響部分は、令和6年度のイルカ生体の管理・環境・展示等にかかる技術的検証会議では扱われていなかったものと推測する。よって、令和7年度も継続的かつ本丸に近づく検証・改善が進むことを期待している。 その一方で、観光課単体で扱うことは、人的資源の制約により難しいのではないかと懸念される。むしろ観光課においては、観光戦略全体の盛り上げと進捗管理・効果の計測と成果の検証に集中し、上記の政策的影響部分は監査委員に委ねてはどうだろうか。すなわち、地方自治法第199条第6項の規定に基づく監査として、市長のリーダーシップにより、市長とその執行機関から切	

No.	箇所	内容	回答
		り離れた主体から客観的に検証してもらえばよいと考える。必要に応じて、「公共施設においてイルカの飼育を行っている獣医師や運営法人の経営者、所管する自治体の職員」などに監査専門委員等として参画してもらうような工夫をし、令和6年度 of 取組をさらに多様な主体で継続するようにしたらよいと思う。 なお、市長要求監査による監査については、責任を押し付ける先を見つける「犯人捜し」ではなく、「壱岐新時代」を迎えるにあたって障壁となっている課題を見つけ、それを避けるなり取り除くなりするだけの、未来志向な取り組みとして行うことが重要である。「犯人捜し」にしかない監査であれば、やる必要はない。	
1-7	1-1. 高付加価値なコンテンツ造成①	(9)として、「新・松永安左エ門記念館(仮称)の整備事業」を掲載していただきたい。 また、(10)として、「「壱岐市歴史文化基本構想」の展開と「文化財保存活用地域計画」の策定」を掲げていただきたい。 ともに、本観光戦略を支える重要な構想・計画・施設であり、それらを礎にしつつ文化庁の各種補助事業等を活用しようとするものである。それを実装するために壱岐市では教育委員会から文化財政策と文化施策を市長部局に移管し、より戦略的に対応できる庁内組織を形成しているのであるから、庁内の共創と協働の効果を引き出せるような書きぶりを行っていただきたい。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見を参考にさせていただき、今後の観光行政に役立てて参りたいと思います。

No.	箇所	内容	回答
1-8	18ページ 高付加価値な観光地域づくり 1-4. 企業連携及び各種大会誘致の推進	「アクションプラン内容」に「①企業連携による交流人口の拡大を目指し、サテライトオフィスの誘致や社員向け研修、福利厚生の一環とした社員旅行、報奨旅行などの誘致強化に努めます。」とあり、それに対する「具体的な事業」として「(1) コンベンション開催補助金事業」という項目があるが、組み合わせとして整合性が取れておらず、示された名称と中身に乖離があるように思う。 「アクションプラン内容」に「①企業連携による交流人口の拡大を目指し、サテライトオフィスの誘致や社員向け研修、福利厚生の一環とした社員旅行、報奨旅行などの誘致強化に努めます。」に対する「具体的な事業」というのは、「短期滞在者向けシェアハウス「えんてらす」運営事業」とか、「市内宿泊事業者に対し、島外企業ニーズを満たすためのテレワーク環境整備支援事業」とかが期待されるのではないだろうか。企業の研修ニーズに対応するための「企業向け市政出前講座（地元団体によるものを含む）」とか、リワーク支援プログラムへのフォローアップ参加とか、そういう企業ニーズ（福利厚生などを含む）をもっと深く掘む取り組みが記載されるべきではないかと思う。 そのうえで、吉崎市からの補助金がないと来てくれないような企業に偏らない誘致策を考えてはどうだろうか。「企業版ふるさと納税」あるいは一般の「ふるさと納税」に対する返礼品でリモートワークプランを提供するとかがあってもいいのではないかと考えるが、そうしたものも検討していただき、「コン	貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見を参考にさせていただき、今後の観光行政に役立てて参りたいと思います。

No.	箇所	内容	回答
		ベンション開催補助金事業」にこだわらない汎用的な誘致策としてビジネスユースのニーズをつかんでいただきたい。	
1-9	18ページ 高付加価値な観光 地域づくり	1-5、1-6として、「グリーンツーリズム」そして「ブルーツーリズム」を追加してはどうか。 「グリーンツーリズム」では、畜産を始めとした農業体験（稲刈りなども）や、壱州豆腐づくりワークショップなどの取組を記載したらよいと思う。1-1-(1)-⑥に神楽の公演にかかる補助事業の記載があるが、単に見世物・展示物・余興ではなく、古来より壱岐の暮らしの営みの中に脈々と紡がれてきた文化である。産業・暮らしとの繋がり・物語のある体験を観光客は求めているのであるから、「本物」を魅せる観光プランを提案できるようになっていただきたい。そのためには、農林課や水産課などと庁内で連携をしていただき、農協や漁協などとも共創する観光戦略を期待したい。 「ブルーツーリズム」についても、「釣り」「魚のさばき方教室」もさることながら、「栽培漁業」「ビーチコーミング」「洋上風力」「平和教育」など様々な観光資源が存在する。そうした取り組みについても光をあて、あらゆる主体が「観光」や「六次産業化」といった付加価値を創造し雇用・所得に繋げるための努力を始める契機をもたらすことを観光戦略の誕生に期待したい。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見を参考にさせていただき、今後の観光行政に役立てて参りたいと思います。
1-10	19ページ 2-1. 宿泊施設	「(1) 国・県補助金説明会の開催等を支援」とありますが、観光庁のメニューだけではなく、文化庁やスポーツ庁、農林水	貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見を参考にさせていただき、今後の観光行政に役立てて参りたいと思

No.	箇所	内容	回答
	の魅力向上 ②施設のリニューアル、メニュー開発、外国人対応、キャッシュレス対応などの取組を支援します。	産省の農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策）や農山漁村振興交付金（中山間地農業推進対策（「島のめぐみ」プロジェクト推進事業））なども紹介していただけるような内容になるようお願い申し上げます。 また、公益財団法人長崎県産業振興財団の長崎県農商工連携ファンド事業など、国・県の周縁の公益法人の助成金などもよろしく願いいたします。 加えて、総務省の地域経済循環創造事業交付金もよろしくお願いいたします。なお、総務省の地域経済循環創造事業交付金については、雲仙市では https://www.city.unzen.nagasaki.jp/kiji0037458/index.html のような形で常時アナウンスをされています。壱岐市でも同様にご紹介いただければ幸いです。	います。
1-11	20ページ受入環境の充実 2-5. 観光人材の確保・育成	14ページに後継者問題が掲げられているが、それに対する取り組みが記載されていない。商工会や、長崎県事業承継・引継ぎ支援センターなどによる諸制度を活用して、『従業員層の観光人材の確保・育成』のみではなく『経営者層の観光人材の確保・育成』や『島内でのM&Aの推進』についても戦略的に対応できる施策をご検討ください。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見を参考にさせていただき、今後の観光行政に役立てて参りたいと思います。
1-12	20ページ 受入環境の充実 2-5. 観光人材の	「地域おこし協力隊」制度について、現在の壱岐市の姿勢（市の直雇用と、市の出資する法人への派遣・配置のみに抑制し、任期後を見据えて丁寧に対応されている運用姿勢）について強い賛意を持っているが、一方で観光人材の確保・育成という観	貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見を参考にさせていただき、今後の観光行政に役立てて参りたいと思います。

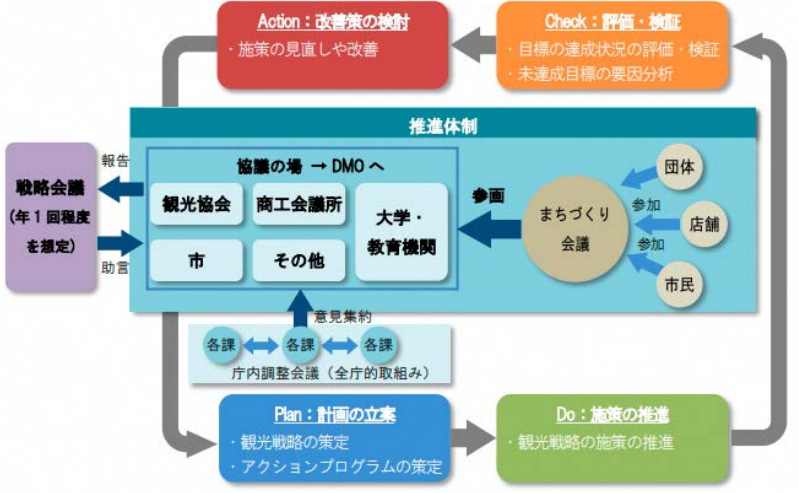
No.	箇所	内容	回答
	確保・育成	点から「地域おこし協力隊活用計画の募集制度」を作り、観光事業者等に対して活用を呼び掛けてはどうか。イメージとしては北海道鹿追町でおこなわれているものである。 https://www.town.shikaoi.lg.jp/work/chiikiokoshikeikaku/	
1-13	20ページ 受入環境の充実 2-5. 観光人材の確保・育成 ① (2) 壱岐市観光戦略の周知・普及	インバウンド接客マナー研修などにとどまる「インバウンド受入体制強化事業」程度では、「おもてなしの心」の普及啓発しできない。第4次総合計画が掲げる『幸せ実感』を市民にインパクトとして届けるためには、『幸せの好循環イメージ』を3年間で達成する必要がある、そのためには「おもてなしの心」を礎にしつつも、市民や事業者一つ一つの主体において「稼ぐ力」と「壱岐の誇り」「郷土愛」「保存科学や歴史学に基づく科学的アプローチの素養」「DX」「旅行業法や食品衛生法といった観光をめぐる法令の遵守と規範意識」といった心根の部分から底上げをする必要がある。行政職員の奉職意識は尊敬するが、「おもてなしの心」のみを市民に押し付ける内容のままでは、観光産業及びその周辺事業者が付加価値を価格に転嫁にしたり、売上から経費を差し引いた所得の向上をしたりといった戦略のアウトカム部分が具体化されておらず、単に市民・事業者が疲弊するだけの結果となる危惧を感じる。 おりしも全国各地でオーバーツーリズムが加速しており、3月23日には、対馬の和多都美神社が相次ぐ外国人観光客の低いモラル意識（というよりも意図された行為と思われる）により「国内外バスツアーを含め、観光目的での参入を全て断り、	貴重なご意見をいただきありがとうございます。「おもてなしの心」の普及啓発に係る「市民・事業者の疲弊」、「オーバーツーリズム」、「市民への無償奉仕」の危惧のご意見でございますが、22ページの「壱岐市のファン（関係人口）を増やしていくため、観光はその入口とも言える重要な分野です。市民一人ひとりがホストとして観光施策を理解し、これまでどおり島外からのお客さまへの温かいおもてなしをお願いいたします。」という記述につきましては、市ではすでに市民の多くの方々が「おもてなしの心」をお持ちいただき観光客をおもてなしいただいていると考えております。そのうえで「これまでどおり」観光客をお迎えくださいというお願いですので、ご理解のほどよろしくをお願いいたします。また、その他のいただいたご意見につきましては今後の観光行政に役立てて参りたいと思います。

No.	箇所	内容	回答
		氏子、崇敬者以外の境内への立ち入りを禁じる」という対応を行うまでに至った。壱岐の神社等でも同様な被害や対応が必要となる段階がすぐそこまで来ている。あらかじめ予防措置を講じ、そのうえで、壱岐の文化と誇りに尊敬の念を寄せてくれる属性の観光客の身を選別するぐらいの戦略的体制を構築して、市井の一人一人にまで観光に伴う派生需要が所得として行き届くようにし、それをもって『幸せの好循環』の実現とし、それによる『幸せ実感』をお裾分けするイメージで「おもてなしの心」を発露してもらうよう市民に要請するような文脈で市民に働きかけるべきではないか。 22ページの書きぶりもそうであるが、行政のメンツを守るためだけに市民に無償奉仕を求めているかのような誤解を生じやすい記載になっているように思う。第4次総合計画や「壱岐新時代」のビジョンには、そうした意図はないものと認識しており、また、観光課職員においてもそうした意図はお持ちではないものと拝察している。「おもてなし」という概念だけでよかった時代は2010年代で終わっている。2025年の今、すぐそこにある2050年をめざして、我が国における課題最先端の地「壱岐」から全国各地に希望をもたらし、これまでに蓄積されたSDGs施策のノウハウを存分に生かした壱岐の観光戦略に学ぼうと壱岐に全国から視察が押し寄せるような（そしてさらなる外貨獲得を実現できるような）、斬新かつ現実的な観光戦略への成長を大きく期待する。	

No.	箇所	内容	回答
1-14	20ページ 受入環境の充実 2-6. 観光地域づくりプラットフォームの形成	「アクションプラン内容」として「①壱岐市観光連盟と観光事業者及び関係機関とのさらなる連携強化を図ります。」という項目を掲げていただいているが、「地域ぐるみでの外貨を稼ぐ力やリピーターを確保する魅力の向上の実現を図ります。」といった「連携・協働・共創の目的を示すもの」について具体性を打ち出してはどうか。主体間関係を構築する意図のない連携をアリバイ作りのようにされてしまうことを回避し、目的を明確化したほうがいいと思います。 そのうえで、宿泊税の導入の検討をされるそうですが、とても大事なことでぜひよろしくお願いいたします。観光客からの入湯税もあっていいのではないかと思います。 あわせて、いくつかの自治体で行われている「行政視察の受入の有料化」も、検討されてはいかがでしょうか。東京事務所の活動の一つであったエンゲージメントパートナー制度が全庁的なものとなり、多くの民間事業者の方々がエンゲージメントパートナー制度の締結や活用のために壱岐を訪れておられると思われますが、その分、職員の方々の対応が必要となっており、そのコストは民間事業者の方々に負担していただくべきものと思います。壱岐に宿泊時は減免となるようにしていいとしても、日帰りでされるときには有料対応にされていい段階に制度が成熟してきたのではないのでしょうか。 ＜行政視察の有料化の事例＞ https://www.city.nagato.yamaguchi.jp/soshiki/58/3049shisatsu.html	貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見につきましては今後の観光行政に役立てて参りたいと思います。

No.	箇所	内容	回答
		https://www.city.hida.gifu.jp/soshiki/3/63051.html https://www.city.tsubame.niigata.jp/soshiki/gikai/1/1/745.html	
1-15	20ページ受入環境の充実 2-7. リスクマネジメントの強化	「具体的な事業」の「(1) 市危機管理課との連携」という文言については、それは観光課が主体となった行政総体における総合行政としての観光施策においては自明のことであり、過程にすぎない。よって、「(1) 市危機管理課との連携」の文言は削除し、むしろ「(1)「壱岐市地域防災計画」に基づく安全対策を講じる。」が「具体的な事業」の欄にあるべきである。 (できれば「(1) 観光事業者等が「壱岐市地域防災計画」に基づく安全対策を講じることができるよう、必要な研修・指導・助言を行う。」という文言がより望ましい。また、鳥インフルエンザや口蹄疫を掲げるからには、農林課と観光課の連携も具体的に記載されるべきである。また、観光事業者等がそれぞれのBCP対策や観光客の避難誘導、延泊等を講じられるよう、商工会や観光連盟にも支援を求める記載があるとよい。) そのうえで、原子力災害を含めて、観光客が島内に滞在せざるを得ないときや、全島避難をしなければいけないときに、どのように案内をするかについて、観光客に含まれる避難行動要支援者の対策についても戦略的に準備される必要があると思われる。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見の一部（文言の記載の仕方等）に基づき本戦略を修正させていただきます。またその他のご意見につきましては今後の観光行政に役立てて参りたいと思います。
1-16	(1)箇所(ページ、行数等)	「主要事業」に「(2) 未来大国補助金事業（西のゴールデンルート）」とある。未来大国補助金というのは、県の補助事業の名	貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見をもとに本戦略を修正させていただきます。

No.	箇所	内容	回答
	21 ページ セールスプロモーションの充実 3-2. 旅行会社等への セールス活動の強化 ②インバウンド対策として引き続きアジアの近隣国を中心とした誘客活動に努めます。また、大阪万博などの国際イベントに併せた誘客活動を強化します。	称と認識しているが、県の補助事業を財源として有効に活用する努力については高く評価するものの、市の独自性・主体性を感じられないことから、たかが財源名に過ぎないものを「主要事業」に置くのではなく、「主要事業」としてあるべきものを記載すべきではないか。 例えば「(2) 大阪万博を契機とした関西圏からの誘客に向けた取り組み(西のゴールデンルートの形成)」といった表現が考えられる。	
1-17	23 ページ(右)	「7. 戦略の評価と見直し(PDCAの考え方)」という項目が必要ではないか。他自治体の観光戦略における「評価」「見直し」「PDCA サイクル」の運用の仕方を参考にして、彦根ならではの形を掲載していただきたい。 (22 ページの「5. 推進体制」の項目の中に加筆する考え方もあると思う。) 例えば、犬山市の観光戦略では、画像の考え方が採用されており、あわせて文章でも示されているので参考にしたい。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。「戦略の評価と見直し(PDCAの考え方)」の項目を追加したほうがよいというご意見でございますが、「5. 推進体制」に追記させていただきます。

No.	箇所	内容	回答
		https://www.city.inuyama.aichi.jp/shisei/keikaku/1005929/1008650.html  あわせて、今回の観光戦略の成立を機に、名古屋市附属機関「観光審議会」（仮称）または「観光戦略会議」（仮称）を設置し、『2-6. 観光地域づくりプラットフォームの形成』やDMOの育成を実現するための苗床の役目を準備してはどうか。	
2-1	13 ページ、中段 (40 代女性)	13 ページにある「②属性別の観光資源の発信案」のうち、40 代女性の旅のテーマにある「自然学習」とあるが、市が考える「自然学習」の具体的な取り組みがあれば教えてほしい。もしくは、どういうものを想定しているのか。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。「自然学習」につきましては、キャンプ、ハイキング、イルカパークでのイルカとの触れ合い、また、子育て世代ということもあり、海水浴場、海釣り、磯遊び等のお子さんの体験学習となるもの等を想定しております。
2-2	17 ページ、戦略とアクションプランの詳細 1-1	17 ページに「(6) 国指定重要文化財である名古屋神楽をツアー商品造成に組み込み、観光客の満足度を高めるため補助を行う。」とあるが、以前、「神楽」が神道の歌舞であるから、市（行	貴重なご意見をいただきありがとうございます。名古屋神楽につきましては国指定重要無形民俗文化財の指定を受けており、市としましては重要な文化財を訪れる多くの方々に鑑賞いただき、その魅力を

No.	箇所	内容	回答
	(6) 壱岐神楽「文化遺産の舞」公演事業	政)が積極的に、旅行商品としてPRがしにくいという意見を聞いたことがある。個人的には、宗教行事というよりも、五穀豊穡を願う伝統芸能という側面が強く、このアクションプランは賛成である。市は、宗教行事ということを配慮した上で、積極的に旅行商品として支援していくのか、そのスタンスを教えてください。	体験していただくべく支援をしているところです。
2-3	17 ページ、戦略とアクションプランの詳細1-1 (8) 高付加価値旅行者の受け入れ	17 ページに「(8) 高付加価値旅行者の案内人であるコンシェルジュを招聘し、モニターツアーを実施。コンテンツ造成に努める。」とあるが、コンシェルジュには、島民も含まれるのか。外の有識者もいいが、島内には、大手旅行会社からガイドで逆指名される案内人や過去に旅行業や観光業で活躍した人材がいるので、そういった島内の人材を活用することを想定しているのか。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。コンシェルジュにつきましては、島外・島内にかかわらず高付加価値コンテンツの造成に資する人材であればぜひご協力いただきたいと考えております。
2-4	18 ページ、戦略とアクションプランの詳細1-2 (3) 壱岐市観光連盟、教育旅行受入団体との連携	18 ページに「(3) 壱岐市観光連盟、教育旅行受入団体との連携」とあるが、教育旅行の誘致については、島外の旅行会社を送客することが大半である。「壱岐市観光連盟」「教育旅行受入団体」のほかに、「旅行会社等」などの文言を入れてはどうか。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見を基に本戦略を修正させていただきます。
2-5	19 ページ、戦略とアクションプランの詳細2-2 (2) 壱岐ちゃりの普及・改善	19 ページに「(2) 壱岐ちゃりの普及・改善」「(2) 観光連盟と連携し、壱岐ちゃり(電動自転車)の更なる周知・普及と利用者の声を聞き、運用の改善に努めていく。」とあるが、一民間企業の事業を市(行政)が個別支援する理由はなにか。島内には、レンタカー業者はじめ、電動バイク等のレンタル事業者が	貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見を基に本戦略を修正させていただきます。

No.	箇所	内容	回答
		いるので、観光連盟の事業を支援することは不公平ではないか（本戦略に個別事業者の個別施策だけを記載するのは不公平ではないか）。	
2-6	19 ページ、戦略とアクションプランの詳細 2-3 観光施設の充実	19 ページに、「(1) 観光施設管理事業として、「観光案内板や遊具の整備及び修繕」とあるが、観光案内版、音声案内、遊具など老朽化が目立ち、故障しているものも散見される。真に必要なものは修繕すべきだが、旅行で来る観光客の大半がスマホ等を持っているので、オンラインでの情報発信など、ハード面のインフラ整備は、必要最低限にとどめるべきではないか。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見につきましては今後の観光行政に役立てて参りたいと思います。

No.	箇所	内容	回答
2-7	20 ページ、戦略とアクションプランの詳細 2-7 (1) 市危機管理課との連携	20 ページに、「(1)「壱岐市地域防災計画」に基づく安全対策を講じる。」とあり、「壱岐市地域防災計画（令和 6 年 12 月）」の 13 ページに「観光客の受入れに対するソフト・ハード両面にわたる整備を進めるとともに、土地に不案内な観光客に対する防災対策の確立も急務である。」とあるが、具体的な整備状況を教えてほしい。 また、日本人であれば防災無線を活用して、避難場所などを伝えることはできるが、日本語が通じない外国人旅行者に、どのような手段で避難場所やその場所への行き方を伝えるのか教えてほしい。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 お問い合わせいただいた「壱岐市地域防災計画」について、担当課である危機管理課が整備している災害時の情報発信等に関する取組については下記のとおりです。 ○日本人観光客に対する情報発信 ・避難所やハザードマップなどのホームページへの掲載 ・屋外拡声局による告知放送 ・壱岐市防災メールによる警報発表や避難所開設等の情報提供 ・VACAN での避難所開設情報の配信 (VACAN：避難所の開設・混雑状況の情報配信サービス) ・エリアメールによる緊急情報の配信 (エリアメール：壱岐市内にある携帯・スマホにメッセージを一斉送信 au、docomo、softbank、Rakuten に対応) ・避難所看板の設置（市内 10 施設） ・海拔表示の設置 ○外国人観光客に対する情報発信 ・壱岐市防災メールの多言語配信 (英語、韓国語、中国語、やさしい日本語) ・エリアメールによる緊急情報の配信（多言語対応可能） ・避難所看板の設置（英語併記）（市内 10 施設） なお、この他の観光客受け入れに関する取組（ソフト・ハード）につきましては、今後も引き続き観光課・危機管理課で検討して参ります。

No.	箇所	内容	回答
2-8	全体（その他）	本戦略では、「招聘」と記載されているが、国土交通省の「観光白書」等では、「招へい」と記載されている。国土交通省の「観光白書」と異なる表現をしている理由があれば教えてほしい。 個人的には、「招聘」という字は、実生活で使う表現なので、このままの記載でもいいし、観光白書などと同様に「常用漢字」以外は、平仮名にしてもいいので、市の考えを教えてほしい。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。常用漢字以外は、平仮名に統一させていただきます。
2-9	受入環境	本戦略には、旅行者の「受入環境の充実」「環境整備」等の取組の記載があるが、Wi-Fi などの通信環境については、言及されていない。 他方、市の公共施設 22 か所（「IKI CITY Wi-Fi（彦根市観光・防災 Wi-Fi）」のご利用について」より）設置されているが、来島する観光客から、「利用場所がわからない」「通信速度が遅くストレス」というコメントをいただく。そのため、本戦略にも「Wi-Fi 環境の検討」などの施策をいれてはどうか。また、他地区の事例では、Wi-Fi 利用者の属性を収集し、新たな旅行商品の開発につなげている場合もあるので、そういった取組を参考にしてはどうか。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見を本戦略に反映させていただきます。
3	強いて箇所を示すとするならば 21 ページ 2-4、22 ページ 3-01, 2, 3 です	戦略そのものに旧態の枠からの脱皮が欲しい。 追加戦略として「未来型 AI 事業の推進（仮）」などの追加項目が欲しい。 22 ページの 3-3 は令和 8 年以降からとなっているが早急な調査費が必要。 資料を添付いたしました。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見の一部を本戦略に反映させていただきます。その他のご意見につきましても今後の観光行政に役立てて参りたいと思います。

No.	箇所	内容	回答
		(新たな戦略の提案なのでこれでも簡素な表現と思います) ※上記資料については下記のとおり。 「壱岐市観光戦略 2025～2027」の素案に対する意見公募について ごく近年において ChatGPT や AI (生成 AI も含む) などの進化は目覚ましいものがあります。 今後においてもこれらの分野を活用した新たな戦略的アーキテクチャーの時代が活発に胎動することは疑うまでもありません。 他分野での多くのジャンルもそうですが観光地においても活用の準備が必要なことは明らかなです。特に壱岐は日本遺産等に見受けられるように歴史や文化や史跡・遺跡などが豊富で他の島とは異なる特徴が色濃く感じられます。 遺跡や史跡などを守ろうとする文化財保護への取組もあればそれを活用しようとする観光活性化への活用も当然必要となります。 「保護」と「活用」の相反する特性の平行線は大きな転換点を迎えようとしているようです。 「保護」と「活用」の矛盾を解決するためにも AI や生成 AI の活用により可能となる地域活性化の時代の準備を進めていただきたい。	

No.	箇所	内容	回答
		下記に取組み例などを提案させていただきました。 観光地での生成 AI の利活用には、観光体験の向上・地域活性化・インバウンド対応・マーケティング強化など、さまざまな可能性があります。 1. 観光体験の向上（パーソナライズ・インタラクティブ体験） ①AI 観光ガイド（バーチャルアバター）・観光案内所やスマホで AI アバターが観光情報を提供・多言語対応でインバウンド観光客向けのサポート・歴史上の人物やご当地キャラがナビゲートする形で、楽しさをプラス →例：京都の AI 観光案内、QR コード型 WEB アバターによる観光ガイド ②AI 生成のオリジナル観光プラン・旅行者の好みや滞在時間に応じて最適なルート提案・混雑状況や天候を考慮し、リアルタイムでルートを調整・SNS 向けの「旅のしおり」や「旅レポート」も自動生成 →例：「食べ歩きプラン」「絶景巡りプラン」を AI が提案 ③AI×AR・VR で観光資源の魅力アップ・歴史的建造物の過去の姿を再現（例：お城の復元、江戸時代の街並み）・スマホをかざすと AI が解説（例：博物館・遺跡巡り）・VR 空間で旅行体験（例：観光地の疑似体験、遠隔地からの観光） →例：奈良・法隆寺のデジタル再現、戦国武将との AI 会話ツアー、観光マーケティングの強化 ④AI による観光プロモーション（SNS・動画・広告）・AI が自	

No.	箇所	内容	回答
		動で SNS 投稿や観光 PR 記事を作成（多言語対応も可能）・旅行者の写真を AI が加工し「映える」SNS 投稿を提案・観光地のプロモーション動画を AI が作成（広告・YouTube 向け） →例：「AI が作った観光 PR 動画」「自動で旅行記を作成」 ⑤AI による観光データ分析・旅行者の行動データを分析し、人気スポット・消費動向を可視化・訪日外国人のトレンドを予測し、観光戦略に活用・最適なプロモーション方法を AI が提案（SNS 広告、キャンペーン戦略） ⑥AI によるご当地グルメ・新名物開発・地元の特産品を活かした新しい料理・スイーツを AI が提案・生成 AI によるレシピ開発→飲食店とコラボして実際に提供・**「AI が考えた〇〇」**として話題化し、観光客を集める →例：「AI が考えたご当地ラーメン」「AI スイーツフェス」 ⑦AI × お土産開発・特産品の EC 販売・AI が旅行者の好みに合わせて、おすすめのお土産を提案・**「AI がデザインしたご当地グッズ」**を開発（T シャツ・ポスター・LINE スタンプ）・AI チャットボットが EC サイトで接客し、観光地の商品を販売 →例：「AI がデザインした観光ポスター」「オンラインで特産品を AI 接客販売」持続可能な観光（サステナブルツーリズム） ⑧AI を活用した観光分散・混雑緩和・AI が混雑状況を予測し、旅行者に分散型観光を提案・人気観光地以外の穴場スポットをレコメンドし、地域全体の活性化・環境負荷の少ないルートを提案し、サステナブルツーリズムを推進 →例：「混雑を避ける観光ルート提案」「エコツーリズム AI ガ	

No.	箇所	内容	回答
		イド」 ⑨AI を活用した観光業の省力化（人手不足対策）・AI チャットボットでホテル・観光案内所の問い合わせ対応を自動化・自動翻訳 AI で、外国人観光客との円滑なコミュニケーション・観光施設の受付・案内を AI アバターが担当し、人手不足を補う →例：「AI 受付アバター」「ホテルの AI コンシェルジュ」まとめ：観光地での生成 AI 活用の可能性 ☑観光体験の向上：AI アバターやパーソナライズプランで旅行者の満足度 UP ☑観光マーケティング強化：AI で SNS・動画・データ分析を最適化 ☑地域ビジネスの活性化：AI で新商品開発・EC 販売・飲食店支援 ☑持続可能な観光：AI で混雑緩和・エコツーリズム推進・人手不足対策 観光地の魅力をさらに引き出し、地域活性化につなげるために、どの分野で AI を活用するのが最も効果的かを見極めることが重要ですね！ まとめ：壱岐にこれまで無かった上記への取組を準備し始めることは、社会（世界）が目指そうとしている取組に追随していく方向性と同じであり、今後地域が求められる生成 AI などの分野への対応は加速していくことは否定できません。	

No.	箇所	内容	回答
		<u>長文になりましたが上記文章も AI と連携させて作成したものです。個人個人の感性も大事かと思いますが、今後の社会の対局は AI 化の潮流に大きな影響をうけます。</u> <u>その準備を始める必要があると思います。</u> <u>先日壱岐の島ホールで行われたエヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社九州支社からの説明内容は壱岐市の意志をまとめた説明会だと認識しております。そのことを行動に移すのであれば新たな戦略として「未来型 AI 事業の推進（仮）」が追加されるべきだと感じております。</u>	
4-1	全体	第 4 次壱岐市総合計画に先立って実施された市民アンケートの結果では、「観光振興」が市職員と市民との間で満足度指数のギャップが最も大きい分野の一つとして示されています。 （参考：第 2 回 壱岐市総合計画審議会資料） 今回の観光戦略が、こうしたギャップを埋め、市民と行政が共に方向性を共有できる機会となることを期待しております。 これまで壱岐市では、「壱岐市観光振興計画策定委員会設置に関する要綱」に基づき、観光振興計画の策定および検証のために委員会を設置してきたと理解しております。今回の戦略の策定についても、どのような経過や意思決定プロセスを経て取りまとめられたのかを、ぜひ市民にもわかりやすい形でご説明いただければ幸いです。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。今回の戦略は 1 ページの戦略の目的等にございますとおり、「総合計画で策定した施策を具体的に実施していくにあたり、観光分野の各推進主体と意思統一を図るため、観光分野に特化した個別の戦略が必要となるため策定」したものです。そのため、本戦略の基本方針・基本戦略・アクションプランについては、総合計画で策定したものを踏襲しております。そのため、これまでの観光振興計画の策定時のような策定委員会を設置して戦略策定のためのご意見をいただくことは実施しておりません。ただし、市で作成した素案を前回の策定委員会に準じた関係者の方々にご覧いただく意見交換会を実施し、併せて市民の方々はじめ広く皆様からご意見をいただく今回の意見公募を実施したところです。

No.	箇所	内容	回答
4-2	1 ページ	本戦略においては、「観光振興計画を継承する」との位置づけが示されておりますが、その前提として、第4期壱岐市観光振興計画（令和2～6年度）における成果や課題について、関係者間での振り返りや情報共有がどのように行われたかを明らかにしていただけると、今回の戦略への理解や納得感がより深まるかと存じます。 特に、観光振興の担い手である各推進主体（観光事業者、地域団体、市民など）に対し、前計画の実施結果や評価について共有し、今後どう生かされるのかを示していただく機会があれば、現場との連携や実行力の高い戦略推進につながると考えます。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。今回は戦略策定と同時期に「観光マーケティング調査」を実施しており、その調査結果を反映させる形で戦略を作成しました。いただいたご意見を参考にさせていただき、今後予定されている観光分野の各推進主体相互の連携を図るための連携会議等において前計画の分析等について共有をしていきたいと考えております。
4-3	2 ページ及び 16 ページ	本戦略においては、「高付加価値な観光地域づくり」を筆頭に掲げていることから「宿泊単価」は重要な指標かと存じます。そこで、「観光消費額については、物価高騰や、燃油価格高騰の影響もあり、一人あたりの宿泊単価が上昇したため、コロナ禍以前の数値より増加しています。」との説明ですが、壱岐市観光統計より令和5年度の宿泊単価を計算すると（66.8億円÷35万人＝）約1.91万円です。一方で、本戦略の数値目標から算出される宿泊単価は3年後で約1.77万円、5年後で約1.70万円と徐々に減少の見込みという理解でよろしいでしょうか。 「観光客延数」の回復については「行動制限の緩和や旅行支援などの観光需要回復対策の事業等もあり」とのご説明がありますが、コロナ禍における各種補助金が「観光消費額」にも一定	貴重なご意見をいただきありがとうございます。観光消費額を観光客延数で割り戻した金額が徐々に減少していくというご意見についてですが、まず、観光客延数の目標値につきましては、コロナ禍前の人数を目指すこととしております。一方で観光消費額については、令和5年度まで行われていたコロナ禍での様々なキャンペーンによる割引や物価高騰の中でも補助等の影響により、実績金額がコロナ禍前よりも増加しておりました。令和6年度以降、コロナ禍による増加させる要素が少なくなったため、市では5年度までの実績金額から算出されるものとは異なる目標値を設定しました。今回、上記2つの目標値設定の背景の違いが割り戻した金額が減少していくという事象となって現れておりますが、市としましては、単価を下げていくという意図を持って目標値を設定したわけではございません。

No.	箇所	内容	回答																																																							
		以上の影響を与えているのであれば、その点についての説明と、例えば基準年度である２０２３年度において「観光消費額」及び「宿泊単価」に占める補助金の額を付記していただければと存じます。 （参考：観光客延べ数あたりの観光消費額） 観光客延べ数あたりの観光消費額 観光消費額/観光客延べ数(千円) 観光消費額/観光客延べ数(2014年を100) <table><tr><th>消費額/延べ数</th><th>2014</th><th>2015</th><th>2016</th><th>2017</th><th>2018</th><th>2019</th><th>2020</th><th>2021</th><th>2022</th><th>2023</th></tr><tr><td>長崎県全体</td><td>10.5</td><td>11.5</td><td>11.4</td><td>10.7</td><td>10.6</td><td>10.6</td><td>9.9</td><td>9.7</td><td>10.8</td><td>12.0</td></tr><tr><td>五島市</td><td>16.9</td><td>17.0</td><td>16.2</td><td>21.4</td><td>22.0</td><td>22.8</td><td>18.4</td><td>17.1</td><td>19.8</td><td>21.4</td></tr><tr><td>壱岐市</td><td>13.8</td><td>14.6</td><td>14.6</td><td>14.3</td><td>14.7</td><td>14.8</td><td>15.2</td><td>15.2</td><td>17.7</td><td>19.1</td></tr><tr><td>対馬市</td><td>14.5</td><td>15.0</td><td>14.8</td><td>14.4</td><td>14.2</td><td>14.6</td><td>14.5</td><td>14.5</td><td>14.7</td><td>14.6</td></tr></table>	消費額/延べ数	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	長崎県全体	10.5	11.5	11.4	10.7	10.6	10.6	9.9	9.7	10.8	12.0	五島市	16.9	17.0	16.2	21.4	22.0	22.8	18.4	17.1	19.8	21.4	壱岐市	13.8	14.6	14.6	14.3	14.7	14.8	15.2	15.2	17.7	19.1	対馬市	14.5	15.0	14.8	14.4	14.2	14.6	14.5	14.5	14.7	14.6	なお、コロナ禍での様々なキャンペーン・補助等につきましては、例えば国の「ＧＯＴＯトラベルキャンペーン」、県の「行っ得クーポン事業」、市の「観光需要喚起対策事業」等々、事業主体や補助内容が様々であり、現在のところ市では詳細なデータにつきましては把握できていないところです。
消費額/延べ数	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023																																																
長崎県全体	10.5	11.5	11.4	10.7	10.6	10.6	9.9	9.7	10.8	12.0																																																
五島市	16.9	17.0	16.2	21.4	22.0	22.8	18.4	17.1	19.8	21.4																																																
壱岐市	13.8	14.6	14.6	14.3	14.7	14.8	15.2	15.2	17.7	19.1																																																
対馬市	14.5	15.0	14.8	14.4	14.2	14.6	14.5	14.5	14.7	14.6																																																
4-4	2 ページ	本戦略においてはインバウンド対応の取り組みが課題として示されているものの、定量的なマーケティング調査の結果が含まれていません。「観光消費額」に占める外国人観光客の割合、もしくは、国内観光客と外国人観光客の「宿泊単価」の違い等を示していただけると、よりインバウンドの優先度・重要性が強調されるかと思います。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。ご意見いただいたインバウンド観光客に関する定量的なマーケティング調査につきましては、「アクションプラン 3-3. 観光マーケティング調査」にありますとおり、今後実施していく予定としております。																																																							

No.	箇所	内容	回答
4-5	3～5ページ	「来島者(数)」、「入込数」について具体的な数値が記載されていますが、それぞれの集計(推計)方法について付記いただければと思います。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。ご意見をもとに本戦略を修正させていただきます。
4-6	5ページ 14ページ	5ページ「ビッグデータを活用した人流調査」の結果に基づき、「夏季の観光客数が最も多く、冬季が少ない」との記載がありますが、全体傾向としてはそのとおりと受け止めております。一方で、壱岐市が公表している過去の観光統計(月別の観光客数)を参照すると、同じ四半期内でも月ごとの入込数に大きなばらつきが見られます。たとえば冬季でも、年末年始と2月では動きが異なるなど、季節内での細かな変動が重要になる場面も多いと感じています。 月別の入込数は既存の統計でも把握可能であるため、今回のようにビッグデータを活用する際には、むしろそうした既存データよりも高い解像度の分析が期待されるところです。それにもかかわらず、四半期単位の大括りな分析にとどまっているのは少し残念に感じました。 今後、より効果的な観光戦略を展開していくためにも、四半期単位に加え、月別、さらには週単位での動向把握・分析が必要ではないかと考えます。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。令和6年度に市は「観光マーケティング調査」を実施いたしましたが、今後同様の調査を実施する際にはご意見を参考にさせていただきます。なお、例年、市では長崎県観光統計を基礎としているため、ご意見にあるような細かい統計を把握することは困難な状況となっております。
4-7	9ページ	「壱岐市及び他の離島や半島のイメージ」について比較されていますが、観光施策の効果検証や今後の戦略立案の参考とするためにも、他の離島地域(特に県内)との比較・ベンチマーキングがあるとより説得力が増すのではないかと感じました。壱岐の強み・弱みの相対的な位置づけを明確にすることが、具体	貴重なご意見をいただきありがとうございます。他の離島地域(特に県内)との比較・ベンチマーキングの実施についてのご意見ですが、ご意見を今後の観光行政の参考にさせていただきます。

No.	箇所	内容	回答
		的な施策づくりにもつながるのではないのでしょうか。	
4-8	18～19ページ	【戦略1-2：教育旅行の推進】 【戦略1-4：企業連携および各種大会の推進】 本戦略の中で、企業研修や社員旅行の誘致・支援に取り組まれている点は非常に有意義だと感じました。あわせて、近年ニーズが高まっている「大学生によるゼミ合宿やフィールドワーク」についても、教育旅行の一環として、あるいは地域との協働プロジェクトとしてぜひ支援対象に加えていただきたく存じます。これらは将来的な関係人口の創出にもつながる重要な層と考えます。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。「大学生によるゼミ合宿やフィールドワーク」を教育旅行の一環として支援対象にするべきであるとのご意見ですが、現在の要綱上は対象外となっております。いただいたご意見を今後の観光行政の参考にさせていただきます。
4-9	19ページ	【戦略2-1：宿泊施設の魅力向上】 12 ページ「調査会社からのご提案」にも記載があるとおり、壱岐の観光業界においては観光人材の不足や高齢化、後継者不在といった構造的な課題が深刻化していると認識しております。 本戦略のアクションプランに「人材育成」（インバウンド接客マナー研修の実施）が盛り込まれている点は、現場の課題にも通じる取り組みとして心強く感じております。そのうえで、人材の「育成」ととどまらず、「確保」や「次世代への承継」といった視点からの支援策もあわせて検討いただけると、大変ありがたく存じます。 具体的には、U・I ターン希望者や関係人口を観光業に呼び込む仕組みづくり、事業承継支援、若手や外部人材による観光業参入の促進など、持続可能な観光産業の基盤づくりに繋がる取	貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見を今後の観光行政の参考にさせていただきます。

No.	箇所	内容	回答
		組みが期待されます。 また、これらの取り組みに先立って、まずは壱岐市内の宿泊施設の担い手について（年代、後継者有無等）の現状調査が必要かと存じます。	
4-10	19 ページ	【戦略 2-1：宿泊施設の魅力向上】 アクションプランにおいて「施設のリニューアル」や「宿泊事業者への支援」が含まれている点には共感しております。その上で、宿泊施設の将来性や観光地としての受け入れ能力を考えたとき、より抜本的な課題への対応が必要ではないかと感じております。 長崎県観光統計によれば、他の離島（五島市・対馬市など）では宿泊施設の収容人員数が徐々に増加している一方、壱岐市では過去 5 年間で宿泊施設数は増加しているにもかかわらず、総収容人員数は減少傾向にあります。 これは、リニューアルされている施設の多くが一棟貸し等の小規模分散型であることや、大規模宿泊施設の縮小・廃業などが背景にあると推察され、単なるリニューアル支援では対応しきれない課題であると考えます。 （参考：宿泊施設数と収容人員の推移）	貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいた本市の宿泊施設数と総収容人員数の関係に係る課題に係るご意見については、今後検討して参りたいと思います。

No.	箇所	内容	回答																																								
		メモ 宿泊施設数と収容人員の推移 (長崎県観光統計より) 施設数と収容人員の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>収容人員推移</th><th>2013年</th><th>2018年</th><th>2023年</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>五島市 民宿以外</td><td>1395</td><td>1562</td><td>2010</td></tr> <tr> <td>五島市 民宿</td><td>557</td><td>454</td><td>466</td></tr> <tr> <td>五島市 民宿比率</td><td>28.5%</td><td>22.5%</td><td>18.8%</td></tr> <tr> <td>対馬市 民宿以外</td><td>1343</td><td>2304</td><td>2352</td></tr> <tr> <td>対馬市 民宿</td><td>1057</td><td>1423</td><td>1575</td></tr> <tr> <td>対馬市 民宿比率</td><td>44.0%</td><td>38.2%</td><td>40.1%</td></tr> <tr> <td>壱岐市 民宿以外</td><td>1398</td><td>1398</td><td>1270</td></tr> <tr> <td>壱岐市 民宿</td><td>1685</td><td>1289</td><td>1243</td></tr> <tr> <td>壱岐市 民宿比率</td><td>54.7%</td><td>48.0%</td><td>49.5%</td></tr> </tbody> </table>	収容人員推移	2013年	2018年	2023年	五島市 民宿以外	1395	1562	2010	五島市 民宿	557	454	466	五島市 民宿比率	28.5%	22.5%	18.8%	対馬市 民宿以外	1343	2304	2352	対馬市 民宿	1057	1423	1575	対馬市 民宿比率	44.0%	38.2%	40.1%	壱岐市 民宿以外	1398	1398	1270	壱岐市 民宿	1685	1289	1243	壱岐市 民宿比率	54.7%	48.0%	49.5%	
収容人員推移	2013年	2018年	2023年																																								
五島市 民宿以外	1395	1562	2010																																								
五島市 民宿	557	454	466																																								
五島市 民宿比率	28.5%	22.5%	18.8%																																								
対馬市 民宿以外	1343	2304	2352																																								
対馬市 民宿	1057	1423	1575																																								
対馬市 民宿比率	44.0%	38.2%	40.1%																																								
壱岐市 民宿以外	1398	1398	1270																																								
壱岐市 民宿	1685	1289	1243																																								
壱岐市 民宿比率	54.7%	48.0%	49.5%																																								
4-11	19 ページ	【戦略 2-2：移動手段の充実】 壱岐市の玄関口となる港（特に郷ノ浦港）において、バス・タクシー・レンタカー・宿泊施設送迎車などの交通動線の整理と、駐車場管理の改善には余地があると感じています。 初めて壱岐を訪れる観光客にとって、港は最初の印象を決める重要な接点です。観光の満足度向上や混雑回避のためにも、港周辺の交通環境整備を「二次交通の一環」として位置付け、関係事業者と連携した現場主導の改善が進められることを期待します。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいた港周辺の交通環境について、各関係事業者と連携し、改善に向けて取り組んで参ります。																																								
4-12	21 ページ	【戦略 3-1：情報発信の強化】 「フィルムコミッションの受け入れ」との記載がありますが、これは常設の組織（壱岐市フィルムコミッション）を新たに設	貴重なご意見をいただきありがとうございます。「フィルムコミッションの受け入れ」については、市では新たな組織を立ち上げることは考えておりません。既存の組織の枠組みのなかで周知・宣伝・																																								

No.	箇所	内容	回答
		立するという意味でしょうか？ 映像作品による観光 PR の効果は非常に大きいため、もし今後、常設的な窓口や支援体制を整備されるご予定があれば、その方針も戦略の中で明示いただけるとありがたく存じます。	受入支援に努めて参ります。
4-13	2 1 ページ	【戦略 3-3：観光マーケティングの推進】 「データに基づく観光マーケティングの推進」との方針に強く賛同いたします。そのうえで、ビッグデータだけでなく、これまで恵岐市が継続して公開されてきた基礎的な観光統計（来島者数、宿泊者数、消費額など）の定期的な更新と公開の再開を強く求めます。 現在、恵岐市公式ウェブサイトの「統計データ集」に掲載されている観光関連の統計は、令和 2 年度以降更新が止まっている状況です。 今後の戦略の実行・評価においても、市民や関係者が状況を共有できるよう、基礎統計の定期更新と可視化は不可欠と考えます。行政主導の戦略実行において、透明性と信頼性を高める観点からも、ご対応をお願い申し上げます。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。恵岐市公式ウェブサイトの「統計データ集」に掲載されている観光関連の統計について、更新の再開に向けて早急に検討いたします。
4-14	2 2 ページ	「定期的に会議を開催するなど推進主体相互の連携を図る」との記載につきまして、ご配慮いただきありがとうございます。今後の戦略推進にあたり、推進主体の一翼を担う「市民」も積極的に関わられるよう、定期会議の開催時期や周知方法については、市民にも参加の機会が開かれる形でご検討いただければ幸いです。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。市民の皆様との連携につきましては、どのようなやり方がふさわしいかを含め、今後検討して参ります。

No.	箇所	内容	回答
4-15	22 ページ	本戦略の今後の運用にあたっては、他の壱岐市の各種計画（例：第4次総合計画など）と同様に、「点検・評価・見直し体制」について方針を示していただけると幸いです。 戦略の方向性や事業内容が今後どう実行され、どのように進捗が確認されるのか、また状況の変化に応じてどう見直されていくのかを共有いただくことで、市民や関係者との継続的な対話と信頼の形成にもつながるものと考えております。 必要に応じて中間報告や進捗の「見える化」などを行っていただければ、市民としてもより当事者意識を持って観光振興に関われるのではないかと感じています。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。「戦略の評価と見直し（PDCAの考え方）」について、「5. 推進体制」に追記させていただきます。市民の皆様との連携につきましては、どのようなやり方がふさわしいかを含め、今後検討して参ります。
4-16	最後に	総合計画の審議会資料において、「壱岐市では年間 32 万人の観光客が訪れ、消費単価を人口換算した場合、約 4,300 人分の経済効果がある」との説明がありました。これは、観光が壱岐市の人口減少を補い、地域経済を持続可能に保つための基幹産業としての役割を担っていることを示す、非常に重要な視点だと考えます。 また、壱岐にとって観光は、単なる経済活動に留まらず「人と人がつながる」可能性に満ちた地域づくりの要でもあります。ぜひ今回の戦略が、多くの市民にとって自分ごととして関わられるようなものになるよう、実行段階においても市民参加の余地を残していただけることを強く希望いたします。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。戦略にも記載しておりますが、壱岐市の関係人口を増やしていくうえで、観光、そして市民の方々が果たす役割は非常に大きいものがあると考えております。市としても市民の方々が主体的に関わっていただけるよう環境づくりに努めて参りたいと思います。

No.	箇所	内容	回答
5	全般	現在、壱岐市における観光客の現状は県内他地域と比べ、厳しい状況下にあると言わざるを得ませんが、その観光客の減少傾向はコロナ以前からであり、コロナの影響だけとは思えません。 そのような状況の中、この度、本戦略を起草するにあたり、数々の調査資料などのデータをどのように解析して、何が原因なのかを徹底的に論議されたのかよく分かりません。 この 10 年間の集客への取り組み、対応など、そこを徹底的に調べあげ、その対策を基本戦略に盛り込まない限り、実効性のない、ただのアクションプランに終わる事でしょう。 全文について目を通しましたが、列記されている戦略アクションプランについて、内容、具体的事業、事業内容ともに目指すべき内容は当然のことであり、それを主体的に実行する現場のプロ不在の中、具体的な方法、対策がこの 10 年来のやり方とほとんど同じでは、目に見える結果が現れにくいのではないのでしょうか。 そこで、提案したい事は、今までの既存の組織だけに任せるのではなく、新たな、観光に特化した「プロジェクトチーム」を立ち上げ、観光に関係する現場で日々観光客と接して活動している民間の人材を中心とした、官民一体となった新たな戦略を展開すべきであると思います。 県内離島、特に五島市では市長の「五島の再生は観光しかない」の言葉の下に、島を活かし官民一体となって着実に成果を上げています。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。本戦略に基づき市では観光に係る推進主体間の連携会議を実施する予定であります。 その中でプロジェクトチームの立ち上げについても検討させていただく予定です。

No.	箇所	内容	回答
		壱岐は他のどの島よりも観光に対する好条件下にあり、また、観光に関しての知見や実践を有している人材がいるのにそれが十分に生かされているとは思えません。 この度の戦略アクションプランの個々の事業内容についても、新たに立ち上げられるべき「観光プロジェクトチーム」による知識、経験、全国に広がるネットワークと実行力などの意見を取り入れ、実践することにより 2026 年までには目に見える成果が表れることでしょう。 ※個々の案件についての意見は提言する項目が多くて、文書ではなく、記述に応じます。	
6	3 ページ他	特定の事業主を紹介していることになるのでエヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社とあまり記載しないほうがよいのではないか。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。ご指摘いただきました企業名につきましては必要最低限の形にさせていただきます。